

テープカットをしてオープンを祝う栗田順公理事長(左端)ら関係者。大垣市笠縫町、大垣西濃信用金庫笠縫支店



笠縫支店が新築開店 大垣西濃信金

大垣西濃信用金庫は笠縫支店(大垣市笠縫町)を敷地内で新築し、12日オープンした。

同支店は1977年開設。県道の拡幅工事に伴って替えて、新支店は鉄骨2階建て、延べ約500平方メートル。

現金自動預払機(ATM)2台のうち1台をタッチレスパネル搭載にしたり、オンライン相談ブースを設けたりして新型コロナウイルスの感染対策を充実した。預金などの取引を行う際、顧客がタブレット端末で記

入するサービス「だいしんスマート窓口」も16日に始める予定。

開店に先立ち、栗田順公理事長ら関係者がテープカットをして祝った。栗田理事長は「笠縫支店は、当金庫の多店舗展開の始まりの店。今回、スマート窓口の導入やタッチレスパネルのATM導入、オンライン相談ブースなど最新の設備を入れた。新しい金融スタイルの始まりの店にしていきたい」と述べた。

(鈴木隆宏)